

団体名: 東浦町商工会

事業名	事業概要(背景・目的)	事業実績	主たる対象者	事業評価										備考							
				目標①			目標②			得られた効果			ABCD評価			今後の展開・改善点等					
巡回・窓口相談指導事業	現在、中小企業が抱える経営課題は多岐に亘り、その中でも事業承継問題や働き方改革への対応、消費税率引き上げに伴う価格転嫁の実現と軽減税率への対応、IT導入の推進等課題が山積するなか、企業の経営環境分析により抽出された課題を如何に解決するかを計画にまとめる経営計画の策定を支援し、その実現に向けフォローアップする伴走型支援事業と金融や税務といった経営改善普及事業を両立して実施する。また、小規模事業者が抱える様々な経営課題に対し、その解決に向け具体的な提案と支援を行い、成果へとつなげる課題解決提案も積極的に行う。 近年多発する自然災害に関する対策は、BCPの重要性等を中小企業に対し周知と啓発に努め、強靱化に向けた取り組みの支援にも努める。	・巡回窓口指導実企業数 418社 ・巡回窓口指導延件数 1321社 ・課題解決提案件数 20件 ・経営革新承認件数 2件 ・事業承継診断票作成枚数 8件	小規模事業者	指標	巡回窓口指導延件数 (達成度 91.7 %)			指標	課題解決提案件数 (達成度 66.7 %)			平成27年に国より認定を受けた経営発達支援計画の計画期間が終了する今年度は、昨年に引き続き商業・サービス業者では販路拡大に対する支援、工業業者では先端設備導入による労働生産性の向上に対する支援が多く、指導内容の充実が図られた。また、消費税率引上げや軽減税率の導入に伴う相談や各種補助金の申請支援、確定申告業務も円滑に終わることができた。	総合評価 A	事業評価側 A	自己評価	満足度	補足	目標①	目標②	国に申請した新たな経営発達支援計画の認定を受け、事業を遂行していくうえで、今後は従来より増して経営分析から始まり、事業計画の策定支援、さらに策定後のフォローを拡大していくため、従来以上に巡回・窓口相談の充実を図る必要がある。	○
				目標数値	1440	実績数値	1321	目標数値	30	実績数値	20				目標達成度	B	A	必要性	実施方法①		
記帳継続指導	記帳機械化の推進により人的資源の乏しい小規模事業者の経理事務の省力化を図るとともに、財務内容等滞りなく把握することで的確な経営判断に資する。また消費増税を目前に控え、軽減税率等正しく理解し、適正な価格転嫁ができるよう指導に努める。	・指導対象者数 68名 ・指導延日数 518日 ・指導延回数 705回	小規模事業者	指標	記帳指導延回数 (達成度 114.4 %)			指標	(達成度 %)			消費増税、軽減税率の導入に対する理解の増進と、令和2年より見直される青色申告控除65万円の要件である電子申告等の周知と準備を進めることができた。	総合評価 A	事業評価側 A	自己評価	満足度	補足	目標①	目標②	電子申告への事前準備と税理士による代理送信を円滑に行うため、従来よりも早めの対応が必要である。	○
				目標数値	616	実績数値	705	目標数値		実績数値					目標達成度	A	A	必要性	実施方法①		
講習会等	各種講習会等を個別または集団で開催し、企業の経営力強化及び持続的な発展に寄与する。集団指導では、知多地域の商工会・商工会議所と連携し、自社分析を踏まえた事業計画作成支援セミナーや技術の習得・向上を支援する業種別講習会を開催する。個別指導では、税務・金融等の相談会を実施し、専門家による助言・指導をもとに経営課題の抽出及び解決に向けた支援を行う。	・集団指導 9回、参加延人数 49名 ・個別指導 7回、参加延人数 13名	小規模事業者	指標	集団指導参加延人数 (達成度 100.0 %)			指標	個別指導参加延人数 (達成度 65.0 %)			経営計画作成セミナーの開催により、事業計画作成のノウハウを高めることができ、他の事業者との交流も図られ経営意欲の向上に寄与した。業種別講習会では、技術的な指導に加え、集客力向上につながるスタイル提案等の講義もあり、サービス向上に役立った。	総合評価 A	事業評価側 A	自己評価	満足度	補足	目標①	目標②	経営計画作成セミナーは次年度も継続し、事業計画策定の定着と実行支援を図る。業種別講習会については、共催者と連携を密にし、事業者の技術・サービス力向上につなげたい。	○
				目標数値	49	実績数値	49	目標数値	20	実績数値	13				目標達成度	B	A	必要性	実施方法①		
若手後継者等育成事業	青年部員自らが企画・実施する「若手経営者等育成セミナー」では、より成果が期待できるよう職種等絞り込んだ専門的なテーマについても実施する。また地域振興の担い手として知識や資質向上を図るため青年部・女性部それぞれ広域連携による講習会等を開催する。 地域振興活動の持続的維持基盤を確保するため、個店の経営力強化に重点を置いた「次世代塾」を実施する。	・若手経営者等育成セミナー参加延人数 19名 ・講習会等参加延人数 78名 ・次世代塾参加延人数 2名	小規模事業者・青年部員・女性部員	指標	講習会等参加延人数 (達成度 195.0 %)			指標	次世代塾参加延人数 (達成度 10.0 %)			青年部による若手経営者等育成セミナーの開催、青年部・女性部各々での広域での講習会や主張発表大会、全国大会に積極的に参加し、自己研鑽に努めた。次世代塾については予定していた研修が実施できずに参加人数が伸び悩んだ。	総合評価 A	事業評価側 A	自己評価	満足度	補足	目標①	目標②	青年部・女性部では引き続き自己研鑽の為の研修を実施・参加する。次世代塾については計画的に事業に取り組む。	○
				目標数値	40	実績数値	78	目標数値	20	実績数値	2				目標達成度	A	A	必要性	実施方法①		
				目標数値	40	実績数値	78	目標数値	20	実績数値	2			A	A		目標①	目標②			

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付しています。
 ※ 事業評価欄において、1つの事業で目標が2つある場合、目標達成度の評価は2つの平均となります。
 ※ 記載内容についての詳細資料は、各団体において整備しています。

2019年度事業実績報告の概要(小規模事業経営支援事業費補助金関係)

団体名: 東浦町商工会

事業名	事業概要(背景・目的)	事業実績	主たる対象者	事業評価												備考					
				目標①			目標②			得られた効果		ABCD評価					今後の展開・改善点等				
祭典事業	地域のにぎわい創出、活性化に寄与するため於大まつり・産業まつりへの商工業者のブース出展等を図る。於大まつりでは、会員企業によるバザー出展を開催する。また、手作りよるいによる武者行列を行い、「於大の方」等の歴史・文化を発信するとともに地域の特産品等を町内外の住民に向けPRを行う。産業まつりでは、工業ブースも多数設け、地元商工業者の認知度及び売上向上への契機の創出を図る。	・於大まつり 4月13日(土) (出店事業者 10社、来場者数 17,000人) ・産業まつり 11月9日(土)・10日(日) (出店事業者 31社、来場者数 26,000人)	中小・小規模事業者	指標	出展事業者数 (達成度 75.9%)			指標	(達成度 %)			出店事業者オリジナルの商品も販売されるようになり、地域活性化の一翼を担うとともに事業者の地域住民に対する認知度向上に繋がった。	総合評価 A	事業評価側 A	自己評価	満足度	補足	目標①	目標②	行政との連携を密にとり、事業者の認知度向上及び販売機会の創出を図るとともに地域住民に還元できる事業となるよう努める。	
				目標数値	54	実績数値	41	目標数値	実績数値	目標達成度	B				A	必要性	実施方法①	実施方法②			
				目標数値		目標数値		目標達成度	B	A	現行どおり										
会員交流事業	地域活性化や会員間の相互交流を目的とした事業を通じて、事業者間及び行政との情報交換の機会を設けることで、地域内での事業展開への活用や地域振興の取り組みへの機運を醸成する。	・賀詞交歓会、会員親睦事業参加延人数 184名 ・各地区運営指導(5地区) 99名	中小・小規模事業者	指標	参加延人数 (達成度 104.8%)			指標	(達成度 %)			商工会のメリットでもある事業者間の異業種交流及び行政等との相互交流について賀詞交歓会や会員親睦事業、地区事業を通じて実現することができた。	総合評価 A	事業評価側 A	自己評価	満足度	補足	目標①	目標②	賀詞交歓会と会員親睦事業を現行どおり行うとともに、地区運営事業への参加者数の増加に努める。	
				目標数値	270	実績数値	283	目標数値	実績数値	目標達成度	A				A	必要性	実施方法①	実施方法②			
				目標数値		目標数値		目標達成度	A	A	現行どおり										
ウェルネスバレー・街づくり事業	ウェルネスバレー構想推進のため、ウェルネスバレー機関と地元企業を中心としたものづくり企業とのマッチング事業やウェルネスバレー機関が開発に加わった健康長寿関連の商品・サービスに対して認定を行う「ウェルネスバレーブランド」の認定支援事業、健康ゾーンを中心とした「土地利用に係る開発調整とまちづくりの将来像の共有」を推進する事業等に取り組む。商業・サービス業を主対象とした経営ゼミナール「あきんど塾」を開催し、IT、SNSを活用した販路拡大等への取り組みを支援するとともに事業の持続的発展に寄与する。また、商店組織への活動支援を行う。	・ウェルネスバレー等参加事業者数 3社 ・あきんど塾参加者数 15名 ・緒川商栄会事業参加延人数60名	中小・小規模事業者	指標	ウェルネスバレー等参加事業者数 (達成度 30.0%)			指標	各事業参加延人数 (達成度 107.1%)			ウェルネスバレー交流賑わい事業に新たに1社参加した。あきんど塾は3日間に渡り開催し、SNSを活用したプロモーションについて学び、参加者の資質向上を図った。緒川商栄会は地域振興のためハロウィン事業や歳末大売出し等を実施した。	総合評価 B	事業評価側 B	自己評価	満足度	補足	目標①	目標②	ウェルネスバレーに係る土地利用や、企業誘致について積極的に取り組んでいきたい。あきんど塾では、新しい視点を経営に取り入れるため、時勢に合った内容を企画したい。緒川商栄会については振興事業の継続に注力していく。	
				目標数値	10	実績数値	3	目標数値	70	実績数値	75				目標達成度	B	B	必要性	実施方法①		実施方法②
				目標数値		目標数値		目標達成度	C	B	現行どおり				現行どおり						
調査・広報事業	小規模事業者にとって有益と思われる国・県等の小規模事業者施策、各種補助金・助成金等多くの情報について選別・発信することで、事業者の情報選択を補完するとともに商工会事業についても周知し、理解を深めてもらえるよう努める。また深刻な人手不足に対応するため、東浦町と共同で求人情報板を設置し、小規模事業者の求人情報を公開する一助とする。	・広報の発行回数 13回 ・ホームページによる情報発信	中小・小規模事業者	指標	広報誌発行回数 (達成度 108.3%)			指標	(達成度 %)			コロナウイルス感染症拡大に対する施策について、ホームページのみならず、広報を臨時発行し、緊急且つ必要性の高い情報を遅滞なく周知するように努めた。	総合評価 A	事業評価側 A	自己評価	満足度	補足	目標①	目標②	コロナウイルス感染症に係る施策についてその導入や変更を円滑に周知するため、広報の発行時期について臨機応変な対応に努める。	
				目標数値	12	実績数値	13	目標数値	実績数値	目標達成度	A				B	必要性	実施方法①	実施方法②			
				目標数値		目標数値		目標達成度	A	A	現行どおり										

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付しています。
 ※ 事業評価欄において、1つの事業で目標が2つある場合、目標達成度の評価は2つの平均となります。
 ※ 記載内容についての詳細資料は、各団体において整備しています。

団体名: 東浦町商工会

事業名	事業概要(背景・目的)	事業実績	主たる対象者	事業評価												備考				
				目標①			目標②			得られた効果			ABCD評価				今後の展開・改善点等			
雇用促進事業	経営資源が不安定になりがちである中小企業・小規模事業者の経営基盤の安定に寄与するため、優良従業員表彰を実施し、従業員の定着化及び勤労意欲の高揚を図る。 また、採用活動の機会創出のため、近隣市町と連携し、新規卒者を主な対象とした合同企業説明会を実施し、雇用促進を支援する。	・優良従業員表彰者 23名 ・合同企業説明会開催 1回	中小・小規模事業者	指標	優良従業員被表彰者数 (達成度 115.0 %)			指標	(達成度 %)			従業員への定着化及び勤労意欲の高揚のために優良従業員表彰を活用できた。刈谷市で予定していた合同企業説明会はコロナウイルス感染症拡大防止のため中止となったが、半田市での説明会では多くの学生が来場し、参加事業所の雇用機会の提供ができた。	総合評価 A	事業評価側 A	自己評価	満足度	補足	目標①	目標②	優良従業員表彰は引き続き会員事業所に対して周知を行っていくが、社会情勢や景気の変化に伴い表彰等に対する縮小が見込まれるため目標を下げる。合同企業説明会については今後も近隣団体と連携して行っていく。
				目標数値	20	実績数値	23	目標数値	実績数値	目標達成度	A				調査結果	B	必要性	実施方法①	実施方法②	
部会・委員会事業	工業では、町内外を問わず、会員企業の今後の事業発展に寄与すると思われる企業等の視察を2社程度行うとともに、将来のものづくりとひとつのつくりのため、産業まつりに工業部会のブースを出展する。商業では、産業まつり当日に抽選会を開催し、にぎわい創出に努めるとともに参加企業の事業発展に資する事業に取り組む。各委員会について必要に応じて適宜開催する。	・部会・委員会活動 33回 ・抽選会加盟企業者数 85社	中小・小規模事業者	指標	各役員会等開催回数 (達成度 110.0 %)			指標	抽選会加盟企業者数 (達成度 96.6 %)			産業まつり会場内において、商業部会では恒例の大抽選会を、工業部会では災害の疑似体験ができるVR体験会を開催し、賑わいの創出に努めた。大府商工会議所との共催で実施した逸品展示会の開催にも尽力した。	総合評価 A	事業評価側 A	自己評価	満足度	補足	目標①	目標②	商業部会では産業まつり大抽選会及び逸品展示会について従来どおり実施する。工業部会では事業継続力強化計画の普及を図りたい。
				目標数値	30	実績数値	33	目標数値	88	実績数値	85				目標達成度	A	調査結果	B	必要性	
福利厚生事業	経営の安定化と従業員の福利厚生の充実を図るため各種共済制度の普及を図る。また法律で年一回の実施が義務づけられている定期健康診断を実施することで中小企業・小規模事業者における従業員等の健康と福利厚生の増進、利便性の向上に資することを目的とする。	・各種共済制度の加入件数 37件 ・事業所健康診断の受診者数 70名	中小・小規模事業者	指標	各種共済加入件数 (達成度 92.5 %)			指標	事業所健康診断受診者数 (達成度 100.0 %)			共済制度の普及については事業所の必要性に鑑みて推進することに努めた。事業所健康診断については、事業所に求められる従業員の健康管理に資することができた。	総合評価 A	事業評価側 A	自己評価	満足度	補足	目標①	目標②	引き続き相手の目線に立って共済制度普及に努めていく。健診事業については需要に合わせて実施時間等を見直す等柔軟に対応していきたい。
				目標数値	40	実績数値	37	目標数値	70	実績数値	70				目標達成度	B	調査結果	A	必要性	
労働保険事業	労働保険料の申告納付をはじめ、従業員の入退社に伴う届出書類の作成等を事務組合にて受託し、中小企業・小規模事業者の事務負担軽減を図る。また、必要に応じ労災・雇用両保険の適正な給付申請等を支援し、良好な労使関係の構築や労働面における経営基盤の安定に寄与する。	・受託事業所数 113事業場	中小・小規模事業者	指標	受託事業所数 (達成度 98.3 %)			指標	(達成度 %)			事業場に応じた申請・届出及び適正な保険給付の助言・指導を行い、事業主の事務手続きの軽減に一定の効果を得られた。	総合評価 A	事業評価側 A	自己評価	満足度	補足	目標①	目標②	未加入事業所に対し労働保険制度の理解を促す。加入事業所に対し制度改正等の新たな情報を提供し、良好な労使関係の構築に努める。
				目標数値	115	実績数値	113	目標数値	実績数値	目標達成度	B				調査結果	A	必要性	実施方法①	実施方法②	
青色申告会・法人会事業	青色申告会・法人会等の税務支援団体、地域貢献団体との連携や活動の支援を通じて、国・地方公共団体・地域社会への貢献や発展に寄与し、ひいては商工業の活性化につながることを目的とする。	青色申告会・法人会の役員会、研修会等の開催 18回	青色申告会 法人会員	指標	各役員会等開催回数 (達成度 163.6 %)			指標	(達成度 %)			税制改正等の研修を通じて税務に関する知識習得や、税の重要性を認識し、意識を高める一助となった。	総合評価 A	事業評価側 A	自己評価	満足度	補足	目標①	目標②	税制改正についての知識向上を図り、税務知識の更新と理解を深めていく。
				目標数値	11	実績数値	18	目標数値	実績数値	目標達成度	A				調査結果	A	必要性	実施方法①	実施方法②	
産業団体事業	東浦町資源リサイクル推進協議会や日本容器包装リサイクル協会の事業活動に協力することにより、中小・小規模事業者の社会的貢献や循環型社会実現に向けた一助となり、ひいては商工業の発展に資することを目的とする。	・マニフェストの作成枚数 53枚 (マニフェストとは産業廃棄物を処理委託する際に事業者が廃棄物の業者間の流れを確認できるように作成する管理票) ・容器包装リサイクル事業の周知、申込書類の受付	中小・小規模事業者	指標	マニフェスト作成枚数 (達成度 110.4 %)			指標	(達成度 %)			資源リサイクルに対する意識の向上と廃棄処理の省力化の一助となった。	総合評価 A	事業評価側 A	自己評価	満足度	補足	目標①	目標②	会員拡大を図るため定期的に資源リサイクルのチラシを会報に折り込む。
				目標数値	48	実績数値	53	目標数値	実績数値	目標達成度	A				調査結果	A	必要性	実施方法①	実施方法②	

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付しています。
 ※ 事業評価欄において、1つの事業で目標が2つある場合、目標達成度の評価は2つの平均となります。
 ※ 記載内容についての詳細資料は、各団体において整備しています。